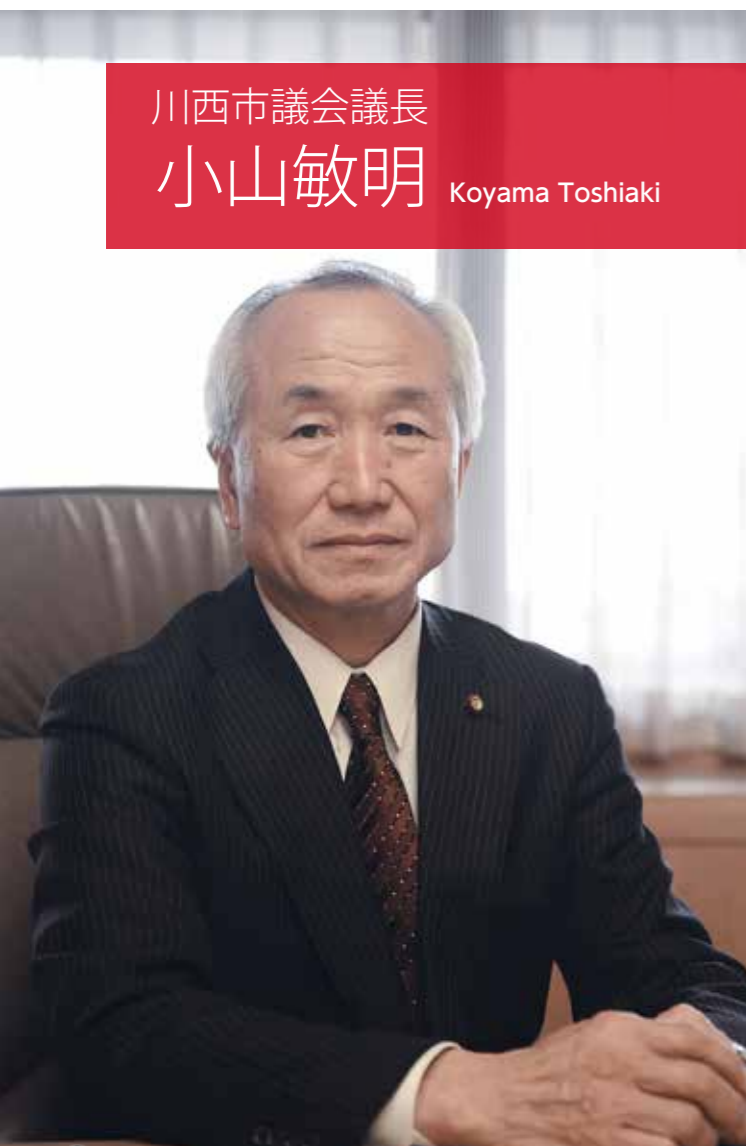


# 迎春

平成 27 年川西市長・市議会議員  
新年のごあいさつ



川西市議会議員  
小山敏明 Koyama Toshiaki

新年明けましておめでと  
ございます。市民の皆さまに  
は、すがすがしい気持ちで新  
春をお迎えのこととお喜び申  
しあげます。

昨年わが国は、夏の度重な  
大雨や、御嶽山噴火・神城  
断層地震など、自然の驚異を  
改めて痛感させられた1年で  
ありました。

また、景気回復に向けた経  
済対策が何かと講じられてい  
るものの、まだまだその先行  
きは不透明であり、決して予  
断を許す状況ではありません

ん。

こうした状況の中にあっ  
て、本市では、依然として厳  
しい行財政環境にあります  
が、多様化する市民ニーズと  
社会情勢の変化に的確に対  
した行財政運営を今後とも  
行っていく必要があります。

昨年10月の市議会議員選挙  
で改選されました私たち26人  
は、初心を忘れることなく、  
決意も新たに市民福祉の向上  
はもとより、市民目線による  
的確な行政運営がなされるよ  
う努めてまいりたいと考えて

おります。

そのためにも、行政とは十  
分な議論を尽くし、議決機関  
としての役割と責任を果たし  
てまいります。

また、これまでの議会改革  
を含め、市民の皆さまから市  
議会への信頼を一層高められ  
るよう精一杯努力してまいり  
ますので、今後ともご支援と  
ご協力をお願いいたします。

どうか、この1年が、皆さ  
まにとって幸多く、実り豊か  
な年となりますよう、心から  
お祈り申し上げます。



川西市長  
大塩民生 Oshio Tamio

新年明けましておめでと  
ございます。市民の皆さまに  
は、健やかに新春をお迎えの  
ことと心からお喜び申しあげ  
ます。

3期目を迎え、初めての新  
春の朝、全力でまちづくり  
に取り組んでまいりたいと決意  
を新たにいたしております。

さて、わが国は世界に先駆  
けて人口減少・超高齢社会を  
迎え、経済・景気の動向も決  
して楽観視できるものではあ  
りません。国と地方が総力を  
挙げて地方創生を推進し、未

来を切り開いていくことが必  
要です。

本市では、国の地方創生の  
理念に先んじて、「川西市地  
域分権の推進に関する条例」  
を施行し、現在コミュニティ  
組織を中心に、規約改正や事  
業計画の策定に取り組んでい  
ただいております。

市におきましても、地域の  
実情に応じた使い方ができる  
「地域づくり一括交付金」の  
交付や、自治会活動などへの  
参画を広く市民に呼び掛ける  
など、市民の皆さまと共に課

題解決に向けて取り組んでま  
います。

眼前の課題の解決は、決し  
て容易ではありませんが、こ  
れからの未来を展望し、参画  
と協働の基本理念のもと、川  
西を愛し、誇りうるまちにし  
たいという思いを持つ皆さま  
と共に、「人と地域が輝く、  
幸せが実感できるまちづく  
り」を進めてまいります。

皆さまにとって、この一年  
が幸多く、実り豊かな、飛躍  
の年となりますよう、心から  
お祈り申し上げます。